

解 答 速 報

東北医科薬科大学 物理

2022年 1月22日実施

【物理（解答）】

[I]	1	2	2	4	3	9	4	6	5	3	6	4	7	2	8	8
	9	4	10	7	11	6	12	5	13	7	14	2	15	10	16	4
	17	2	18	8												
[II]	19	1	20	5	21	3	22	9	23	4	24	2	25	2	26	7
	27	6	28	3	29	7	30	7	31	10						
[III]	32	3	33	6	34	8	35	9	36	3	37	8	38	3	39	5
	40	6	41	1	42	3										

【物理（講評）】

[I] 非等速円運動と放物運動

典型問題ではあるものの、設問数が多く、また選択肢が選びにくいいため、いかにスピーディーに処理できたかで差が付いたであろう。

[II] 荷電粒子の運動

力積・仕事に関する設問や、3次元の運動に関する設問で差が付く。問6まではとりたい。

[III] 気体分子運動論

混合気体であること、ボルツマン定数を扱うこと、設定が込み入っていること、また誘導が少ないことなど、解答するうえでの障壁が多く、平均点は低いだろう。

【総評】

昨年に比べて設問数が増加しただけでなく、解答の難易度が高くなっており、60分間での完答は難しい。一般枠の正規合格ラインは6割前半ではないか。

LINE 登録で全教科配信！

本解答速報の内容に関するお問合せは…

YMS ☎03-3370-0410 まで

